

大阪製鐵グループ 環境自主行動計画 (2018~2022年)

1. 地球温暖化対策

◎ 日本鉄鋼連盟の低炭素社会実行計画(2013-2020年にCO₂ 500万トン削減)達成に向け大阪製鐵グループでは、省エネルギー推進と再生可能エネルギー拡大に取り組んでいます。

(1) 省エネルギーの推進

◎ 2020年度末に2011年度比25%の省エネを目指すとともに、継続して更なる省エネを推進します。

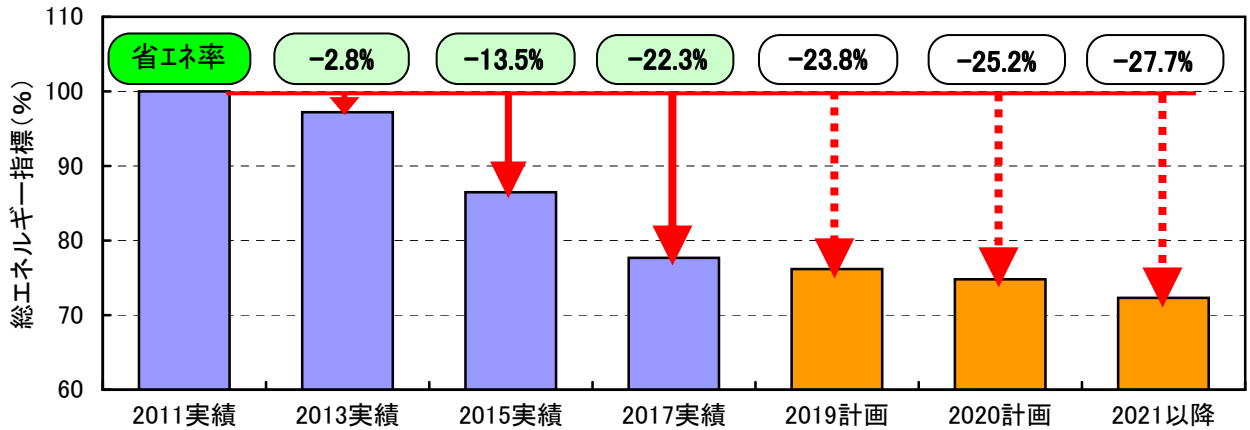


図1. 省エネルギー推移

(2) 再生可能エネルギー拡大への取組み

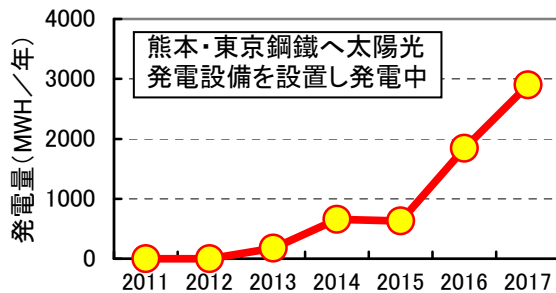


図2. 太陽光発電量

<省エネルギー推進主な施策例>

2017年までの実行施策	2018年以降の計画案件
・恩加島・堺製鋼統合化	・新庄延ミルによる省エネルギー(堺・恩加島の一体化実現)
・堺受電設備独立化	・コヒーレントバーナーによる省エネルギー
・電気炉集塵設備効率化	・電気炉攪拌装置設置
・加熱炉リジェネバーナー化	・電気炉トランス更新
・建屋LED照明切替え	・取鍋予熱酸素バーナー増設
・新北海鋼業事業清算	・ミルモーター更新
・太陽光発電設備導入	・クレーン照明のLED化
・省エネルギーポンプ類導入	・IOT技術導入による省エネルギー
・CC排蒸ブロワー自動運転化	

2. 省資源・廃棄物対策

◎ 省資源、廃棄物および発生副産物の再資源化に取り組み、循環型社会の構築に貢献します。

(1) 工場発生物のリサイクル化拡大 (関連図3)

- ・スラグ再資源化: 成分管理, 自社リサイクルを確立
- ・電子マニフェストを採用し、管理を強化徹底
- ・空き缶リサイクル活動⇒自社にてリサイクル実行

(2) 一般ごみの減量化推進

- ・ペーパーレス業務への切り替え (関連図4)
⇒携帯型パソコン導入によるペーパーレス会議実施
- ・分別回収徹底による廃プラスチックリサイクル活動
- ・大阪市環境局長表彰受賞「ごみ減量優良建築物」

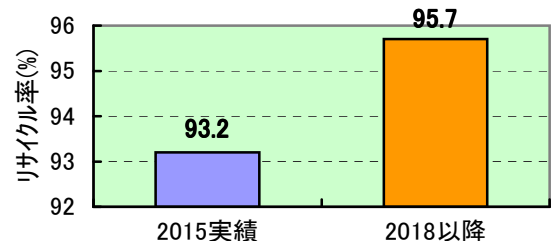


図3. 発生物のリサイクル化

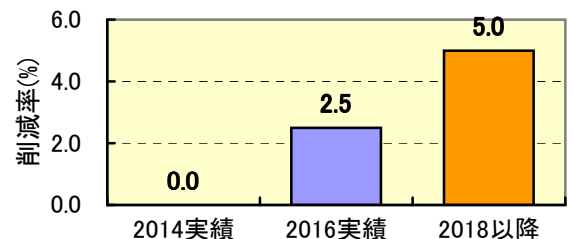


図4. 印刷用紙の削減

3. 環境マネジメント重視経営の推進

- ① 毎年1%以上の省エネルギー実現推進
- ② ISO14001・2015年版への切り替え完了
- ③ 環境リスクアセスメントによるリスク要因の抽出とリスク低減対策推進
- ④ 全社環境マネジメント委員会による地球環境との共生を重視した経営方針の徹底と具体的施策推進

4. 環境意識の高揚・環境改善活動の実践

- ・省エネ改善活動の実践: 文部科学大臣創意工夫功労者賞を4年連続して受賞(堺, 熊本, 恩加島)
- ・GoZERO省エネルギー活動: IOT技術導入による機器類の遠隔見える化を図り、無駄運転を排除